



# Amazon QuickSightによるデータ統合と活用で 経営・サービス改善のスピードアップを実現！

2023/5/18

MEEQ株式会社 加藤 敦基

©2023 MEEQ Inc.



# 自己紹介

ミーク株式会社

技術・運用本部 システム課 課長

加藤 敦基 (かとう あつき)

## 略歴

2012年 So-net株式会社に中途入社  
NURO光/MVNE事業の立ち上げ当初から参画

2020年 ミーク株式会社に転籍  
NoCode IoT/DX Platform MEEQの開発担当

ミーク株式会社のご紹介

MEEQ

## 会社概要

会社名	ミーク株式会社 (2022年12月16日に社名変更)
※旧社名	ソニーネットワークコミュニケーションズ スマートプラットフォーム株式会社 (SNCSP)
所在地	東京都渋谷区渋谷3-10-13 TOKYU REIT渋谷Rビル 8階
事業内容	IoT プラットフォーム事業 MVNE事業 データプラットフォーム事業
代表者	代表取締役社長 峯村 竜太
設立日	2019年3月
資本金	10 百万円
URL	<a href="https://www.meeq.co.jp/">https://www.meeq.co.jp/</a>

# MEEQ とは

- IoT向けデータ回線を軸としたIoTプラットフォーム



# MEEQ 回線

## 国内



### セルラー

#### ● トリプルキャリア

- ワンストップ提供
- キャリア混在の閉域

#### ● LTE-M (CAT-M1)



### 非セルラー

#### ● Sony独自規格



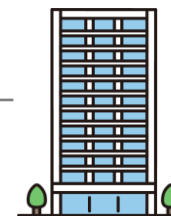
## 海外

#### ● MEEQグローバルSIM

- 182の国・地域
- カード型、チップ型SIM
- 国内利用3キャリア対応

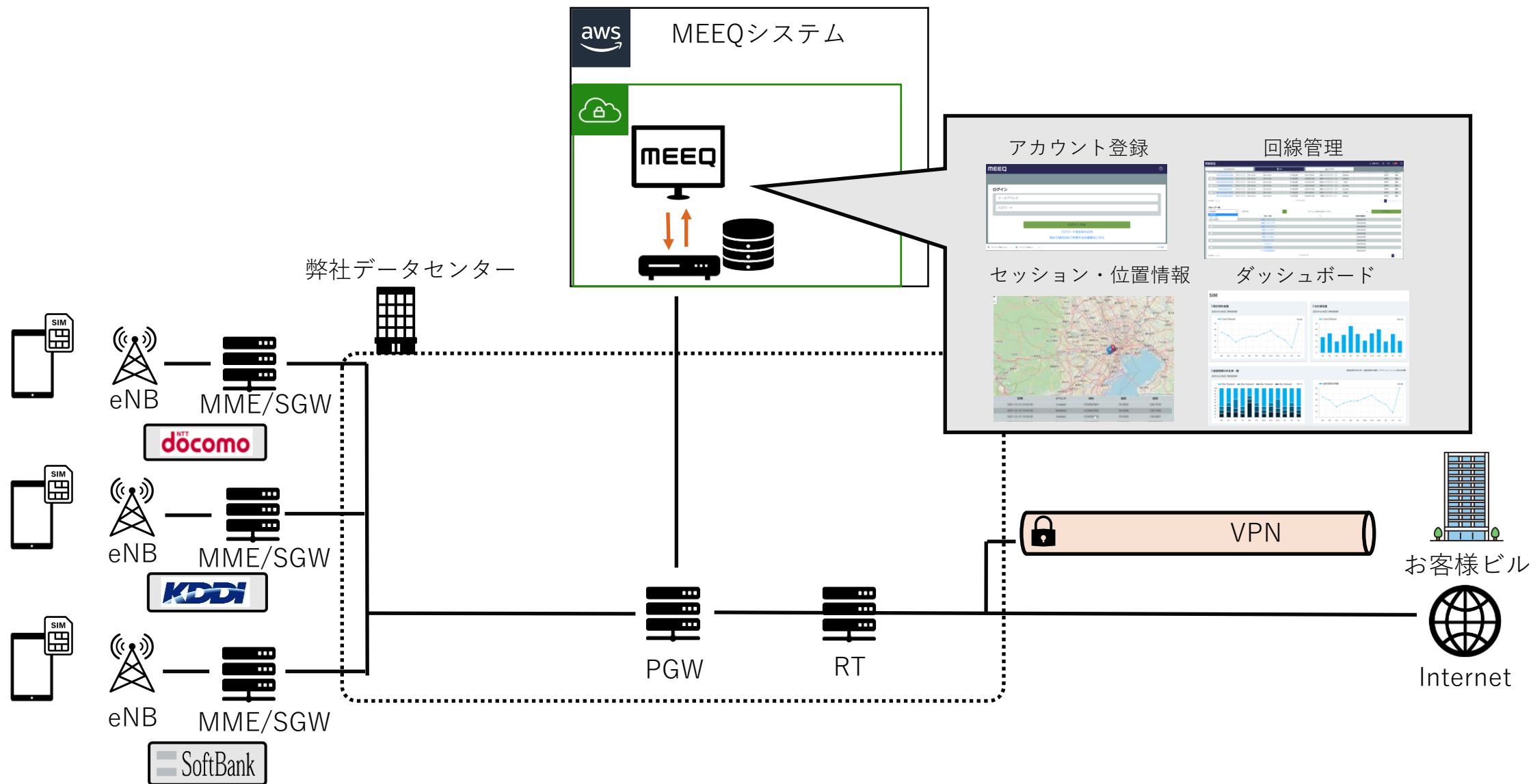
 **国際卸事業者**

レイヤー2接続

**ミック****貴社****エンドユーザー**

- ・ 長く通信事業で培った技術力が基盤
- ・ 3MNOの回線をワンストップ提供
- ・ 自由度の高いプラン提供形態

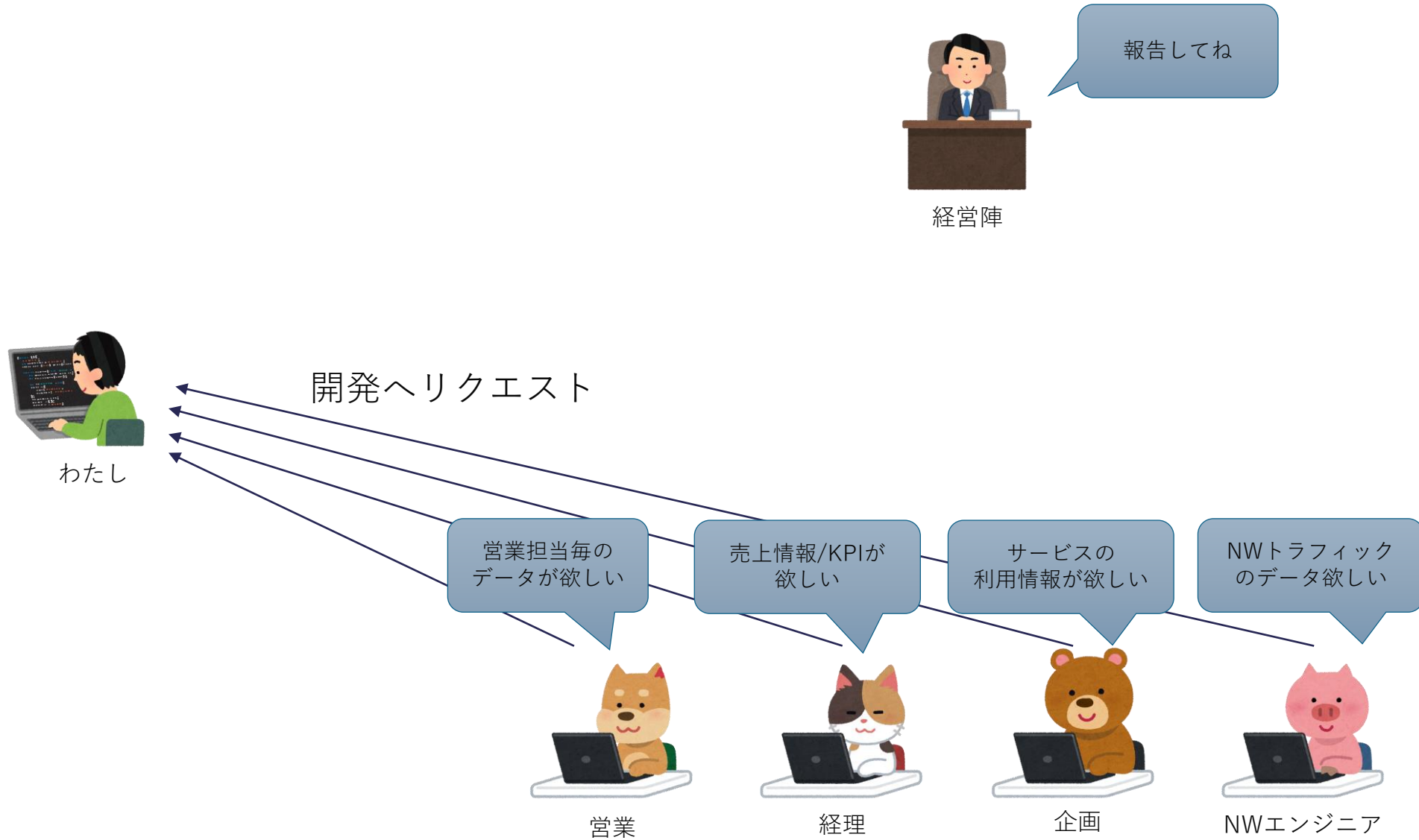
# システム構成



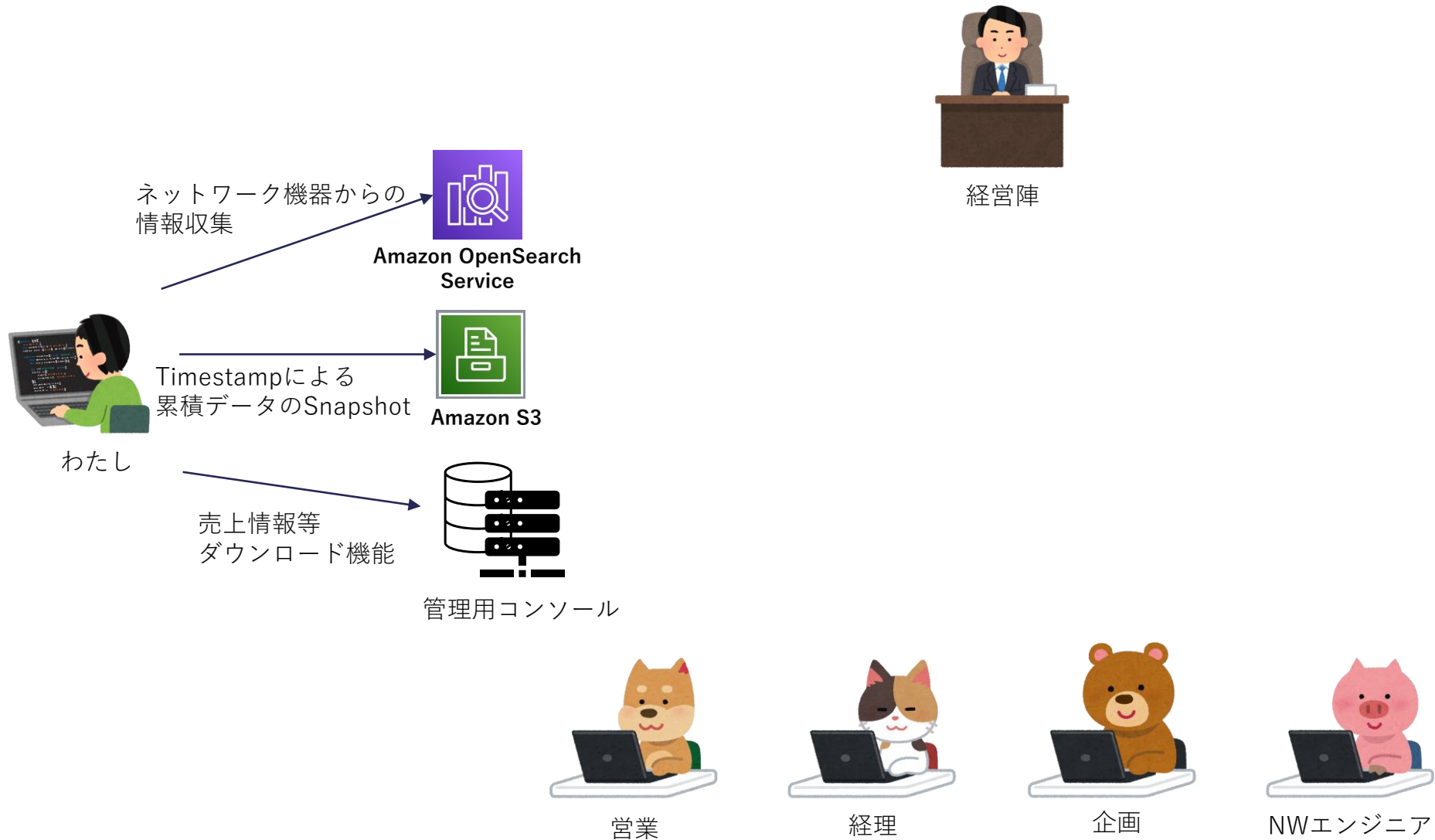
QuickSight導入背景

MEEQ

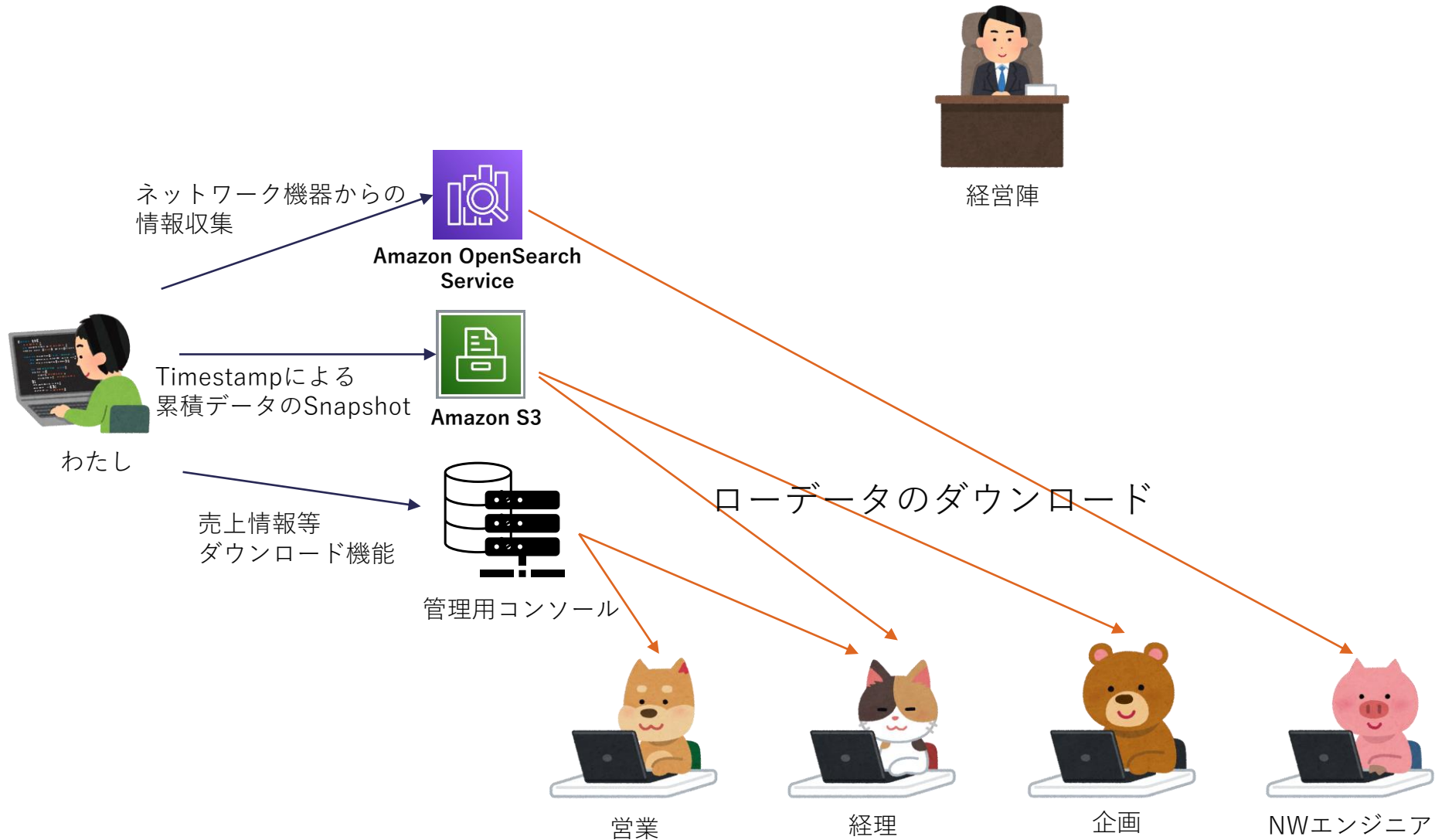




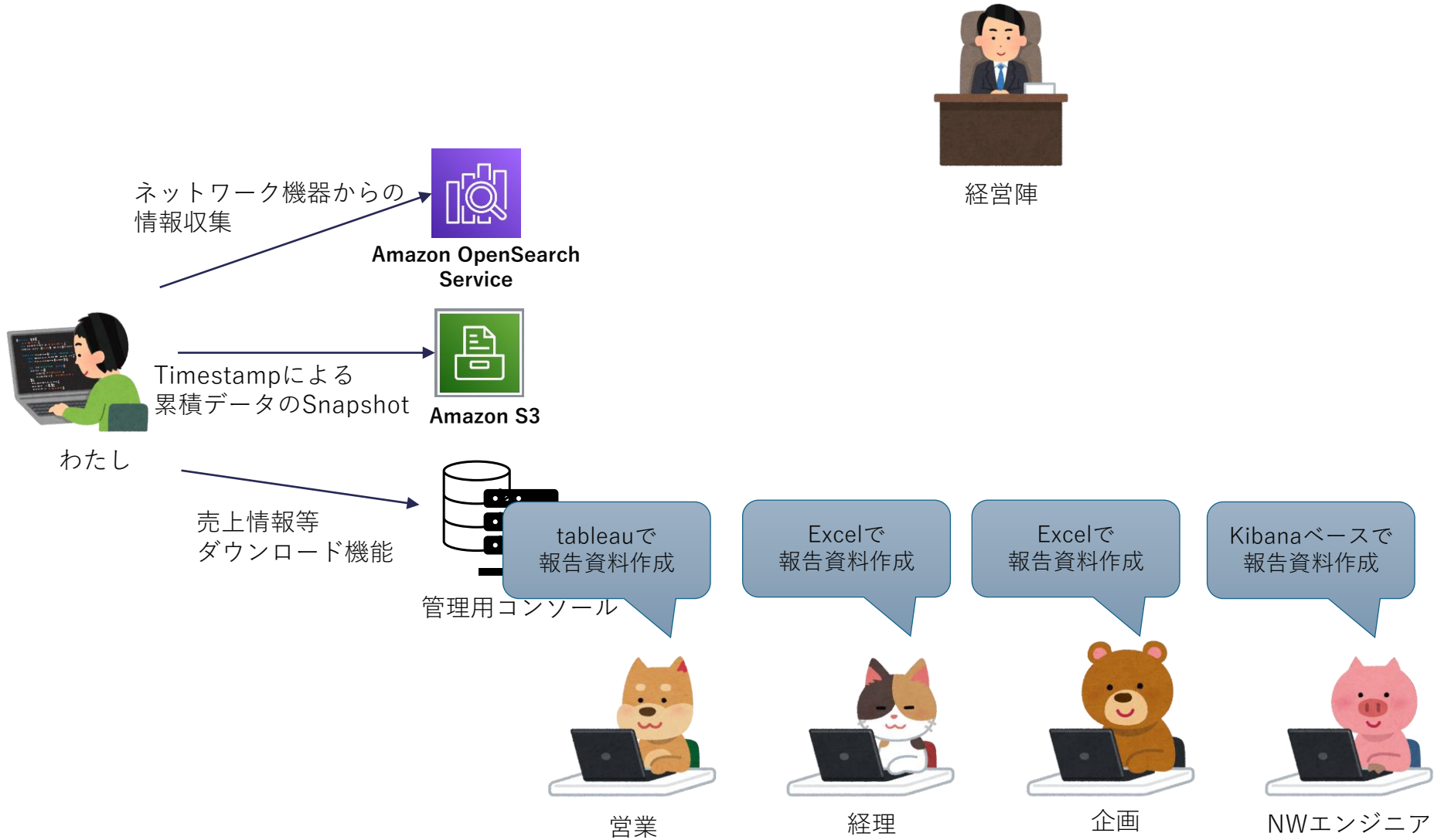
# QuickSight導入前のデータ分析・活用

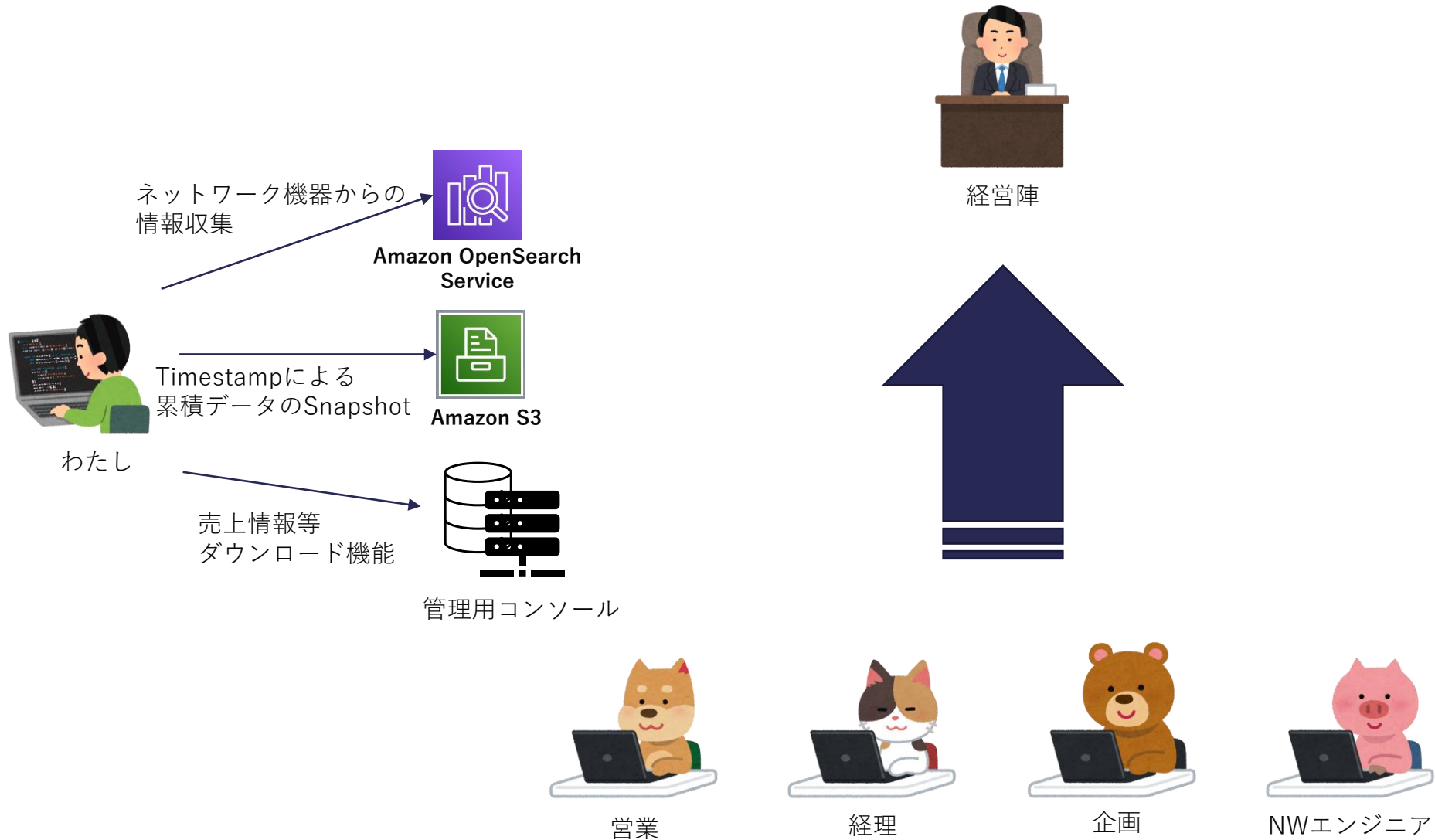


# QuickSight導入前のデータ分析・活用



# QuickSight導入前のデータ分析・活用





- 導入前の問題
  - データが部門毎に寸断されているため、横断的に利用可能なデータがあってもわからない
    - 実際に複数の部門から似たようなデータのリクエストを受けることも…
  - ローデータからの加工が入るため、報告資料のリアルタイム性がかけていたり、資料を作成する各担当にコストが発生している
  - Excel等がベースの場合、常に最新のファイルが共有されているか怪しい状態…
  - 既存データに対して付随データを足したかったり、全く新しいデータが欲しい場合、開発コストが発生する
    - 故に欲しいデータがあってもリクエストし辛くなってしまう事も…

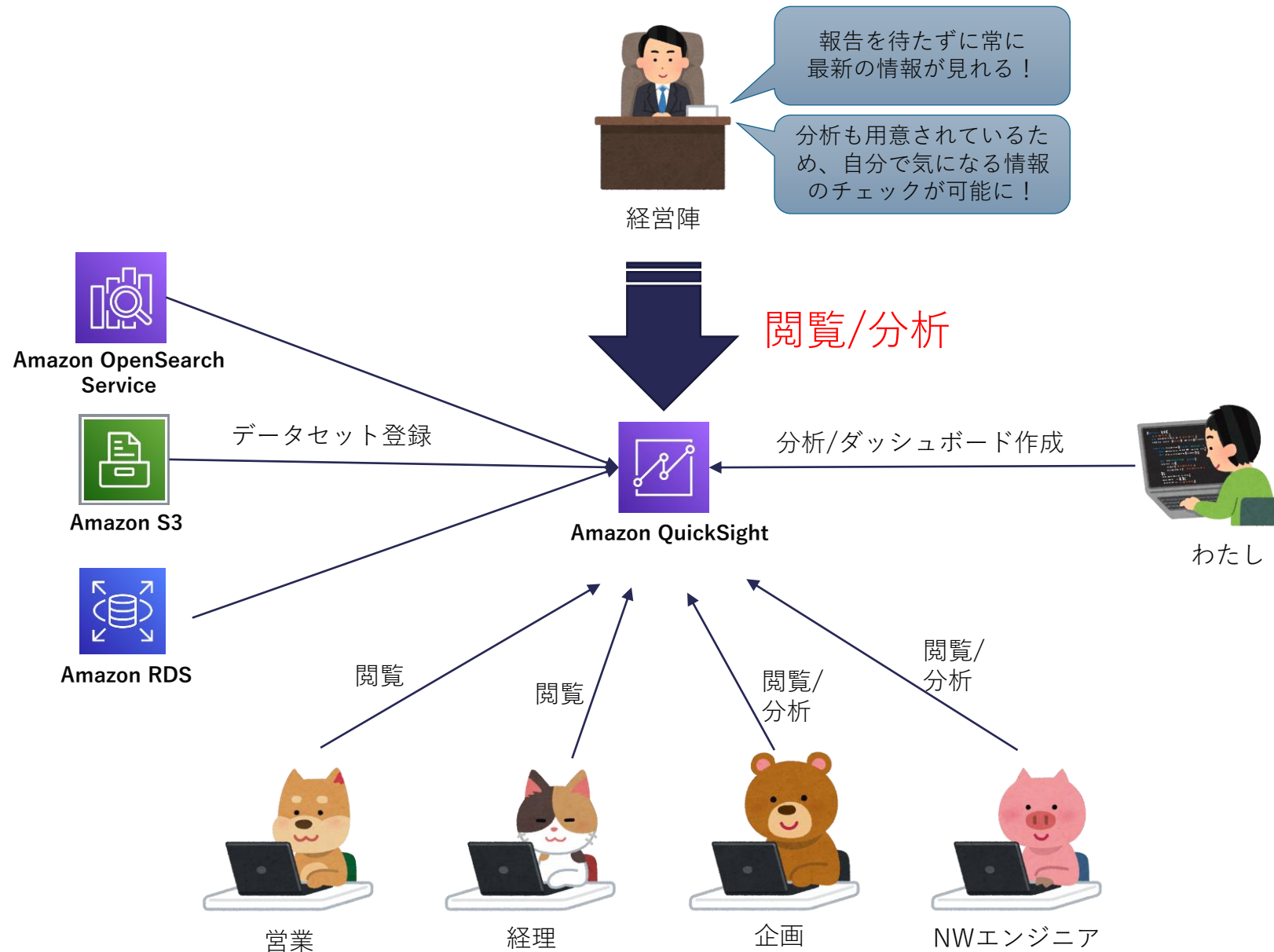
- 導入の容易さ
  - 既にMEEQでAWSを利用してサービス展開していたため、AWS内部のデータ連携が容易であったこと
  - 学習コストの低さ
    - QuickSightを導入すると決めてから初回の社内向けダッシュボードの作成と公開まで一週間程度(業務の合間で)
  - 経済的コストの低さ
    - 閲覧専用ユーザーであれば、ユーザーあたり月\$5程度しかかからないため、経営陣への導入説明が楽でした
  - 豊富なインプットデータに対応していること
    - AWS内のサービスだけでなく、外部サービスとの連携が可能な点も大きなポイントでした。

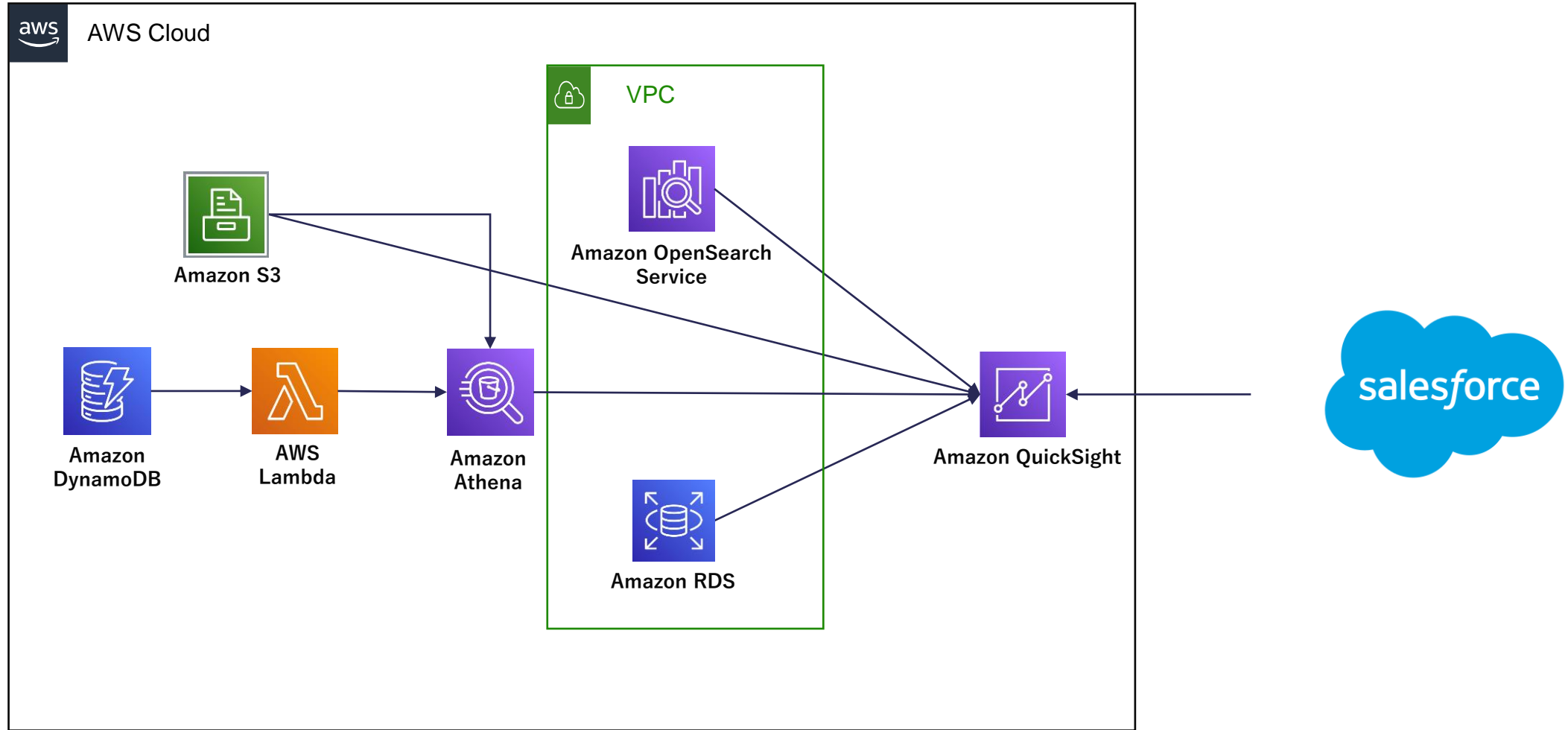
QuickSight導入後

MEEQ



# QuickSight導入後のデータ分析・活用





- インメモリエンジンSPICE
  - SPICEを使用することで、データソースへの参照負荷を考える必要がない
  - データセット更新タイミングをユーザーがスケジューリング可能なためデータの精度とデータソースへの負荷に応じた設計が可能
- 出本の異なる複数のデータソースを利用してデータセットを生成することが出来る
  - 例えば、RDSで保持する顧客情報とSalesforceが持つ営業データにある同一のID情報を利用してデータセットを作成している

# QuickSightで構築した ダッシュボードの一例

MEEQ 前月売上 上位25社

企業名の上位 25 個を表示

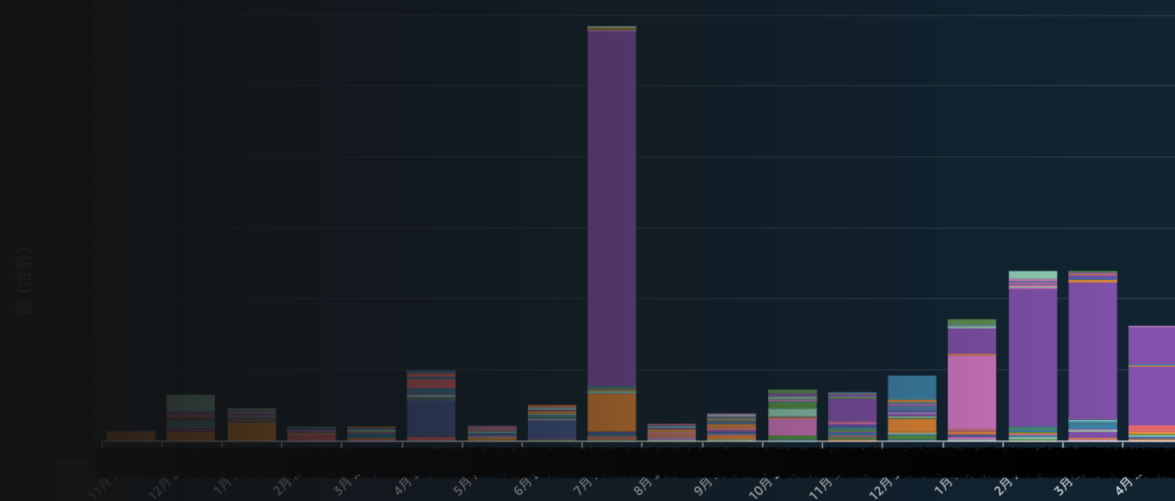


グループ化の条件: 企業名  
サイズ: 金額

前上年月日 (月)

MEEQ 月次解約SIM数

前月解約 SIM 数と企業名の上位 50 個を表示



日付 (月)

週間SIM解約申請異常

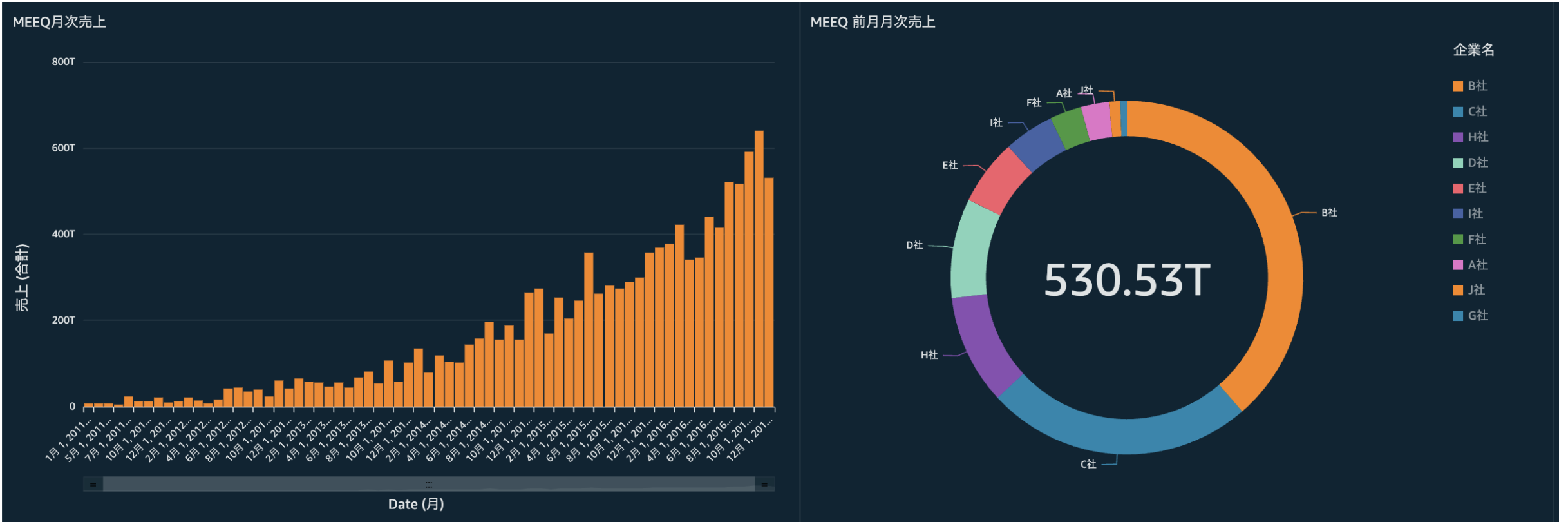
最終更新日 2日前

No anomalies detected

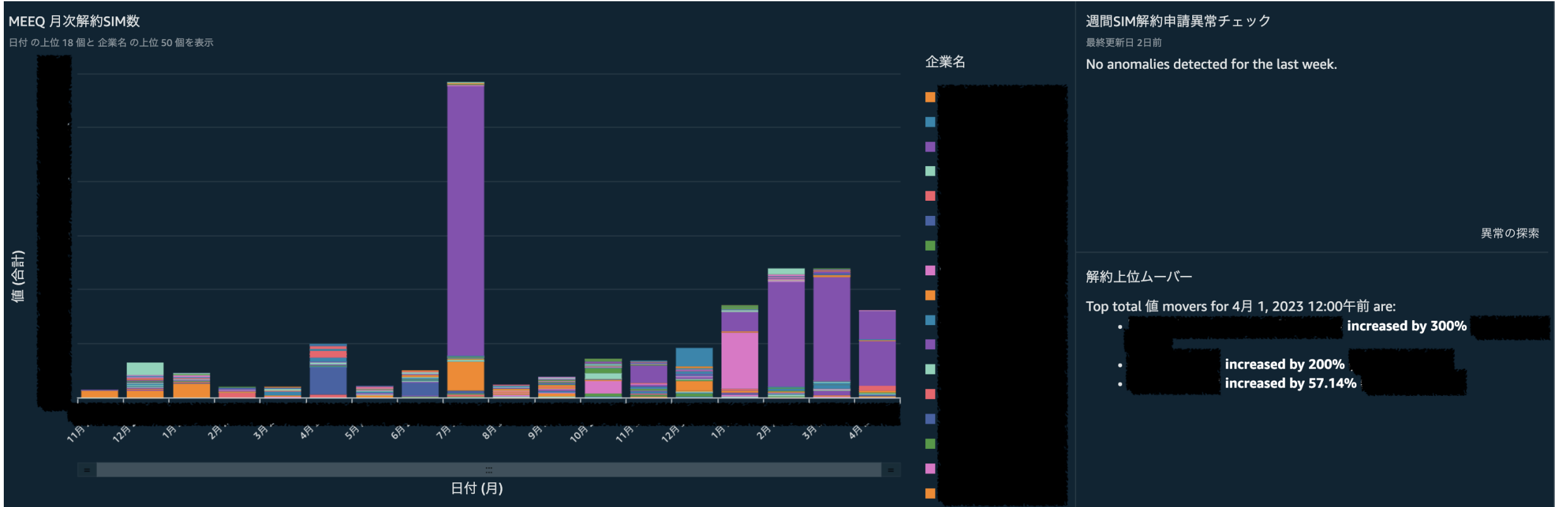
解約上位ムーバー

Top total 値 movers for

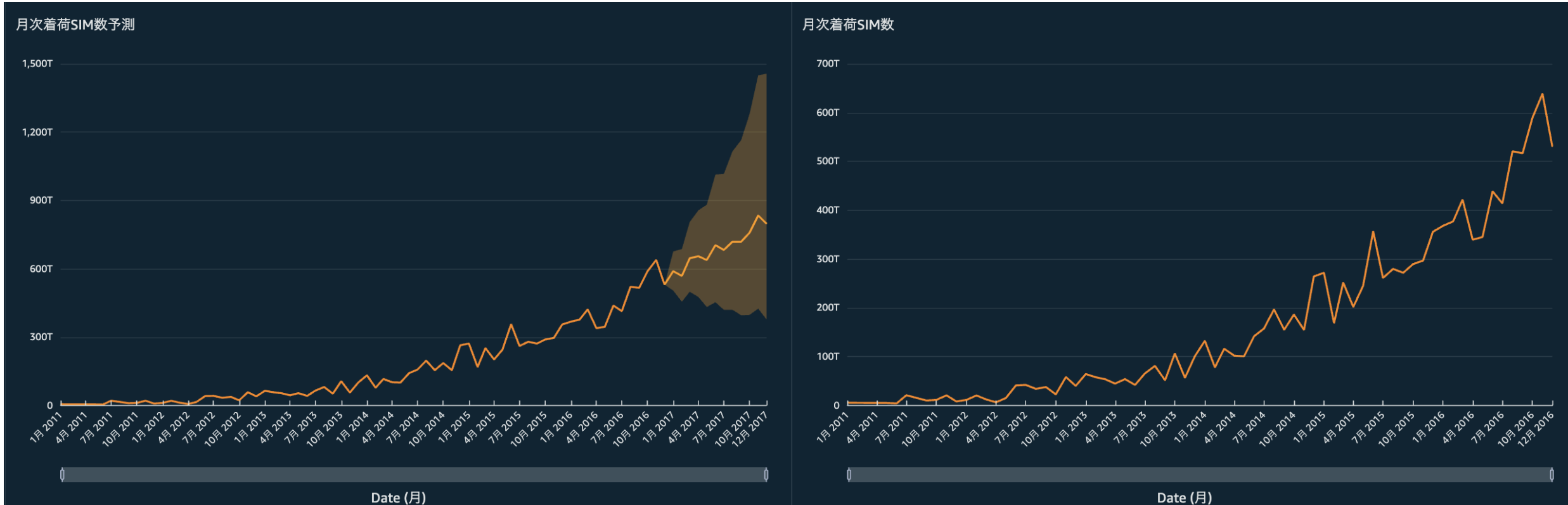
# サービスの月次売上情報(データは架空です)



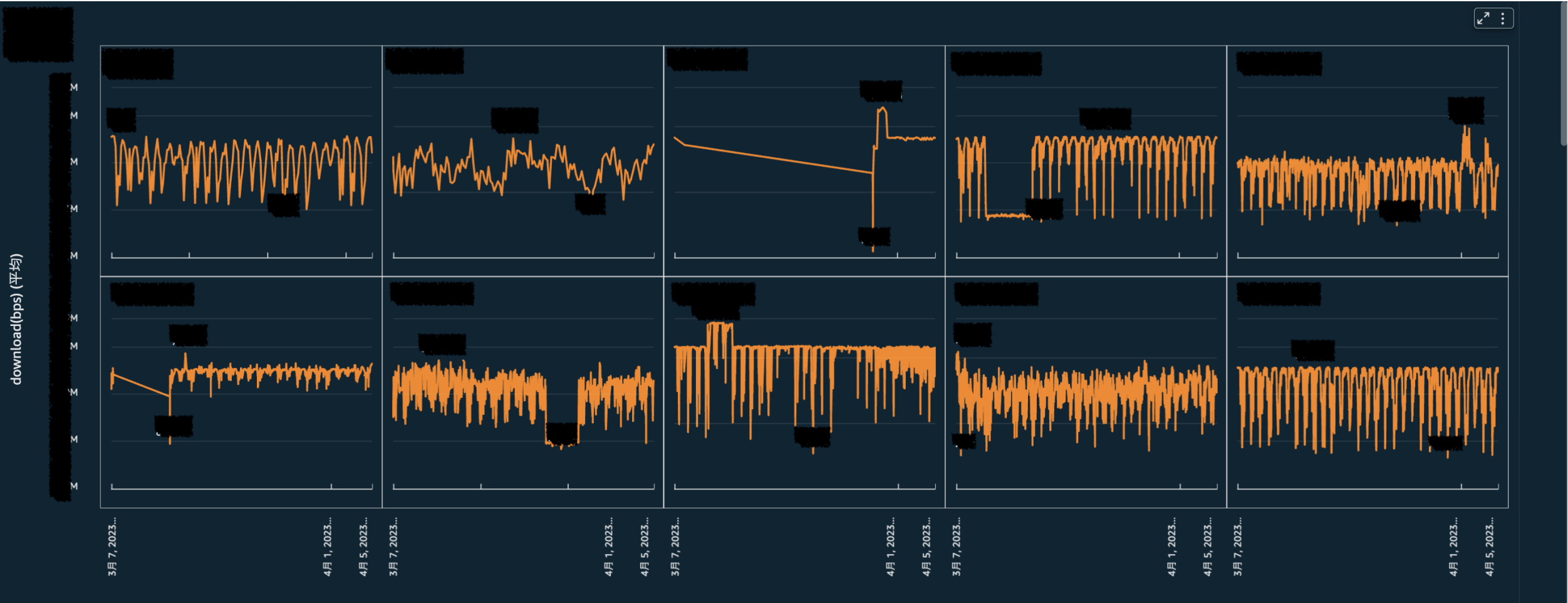
# 回線解約情報と異常値チェック(データは架空です)



# Insightを利用したSIM回線数の伸びを予測(データは架空です)



# 回線速度モニタリング





- 課題の解決

- ダッシュボードを全社向けに共有することで、データの分断が解決
- データセットの更新タイミングを任意設定することで、必要な鮮度の情報を常に参照可能に
- 経営陣は、各部門の報告を待たずに経営情報を確認することが可能に
- 経営陣が直接欲しいグラフやデータの依頼が可能に
- 導入コストが下がった事で、欲しいデータの依頼がしやすくなった
- 毎週行われてた資料作成が無くなっただけでなく、いつでもデータが参照出来るようになったため、MTG時間も削減され、業務コストが改善された

# データを利用した新しいサービスの展開

社内向けに利用していた帯域情報のデータセットを顧客単位でダッシュボードを作成することでサービスコンソールにQuickSightのダッシュボード埋め込みをシステム化し、可視化サービスの提供が可能になった



- ダッシュボードをMEEQコンソールに埋め込み、管理者アカウントで閲覧可能にしたい
- 全社に広くデータを公開した事で、要望が増えた。分析出来る人材を増やしていきたい

### 余談

- 分析とデータセットは1対1ではありません

一人ひとりが、  
イノベーションを支える主体者だ。

テクノロジーは加速度的に進化していく。

しかし、テクノロジーの進化の恩恵を受けられる企業は、ほんの一部だ。

あらゆる企業がIoT、AIなど先端テクノロジーの恩恵を受けることができたなら、  
日本から生まれるイノベーションは、世界をもっと良い方向に変えられる。

わたしたちは、テクノロジーと企業の距離を身近にするために、  
ソニーグループで培ってきたケイパビリティを活用した  
テクノロジープラットフォームづくりに挑戦する唯一無二のスタートアップ。

わたしたちの事業は、一つの市場がテクノロジーの恩恵を受けられるようになることで、  
完結するものではない。

あらゆる市場、企業、事業が、テクノロジーの進化から取り残されないう、  
パートナーと共創し、変化を恐れず柔軟に、  
主体性をもって果敢に挑戦していく必要がある。

決して容易い仕事ではない。まだ誰も正解を持ち合わせていないからだ。  
世界をもっと良くしていきたい、営業も、エンジニアも、マーケターも、  
サービス企画も、コーポレートも。

持てる全てのスキルをぶつけることができる仕事。

わたしたちは、ともにイノベーションを支える仲間を求める。

ミーク株式会社では  
一緒に働く方を募集しています

- ソフトウェアエンジニア
- ネットワークエンジニア
- モバイルコアエンジニア
- ソリューションアーキテクト
- SaaSサービス企画

# MEEQ

MEEQ は、ミーク株式会社の登録商標および商標です。